

第 5 回伊勢市上下水道事業審議会 議事録要旨

平成 31 年 1 月 16 日

第5回伊勢市上下水道事業審議会 議事録要旨

日 時 平成31年1月16日(水) 14:30~15:45
場 所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 3階 研修室

委員出席者 木本 凱夫 松原智恵蔵 杉山 謙三 高橋 克彦
杉田 英男 曾根 章江 竜田 和代 田岡 光生
中西好一郎

委員欠席者 齋藤 平 岩崎 良文 奥村 幸恵 大西 隆

事務局	上下水道部長	中村 高弘
	上下水道部次長	前村 俊和
	上下水道総務課長	成川 誠
	料金課長	酒井 幸久
	上水道課長	田端 幸孝
	下水道建設課長	松田 康
	環境課長	古布 武
	上水道課副参事(建設係長)	濱口 新
	上下水道総務課主幹(経理係長)	藤田 文香
	上下水道総務課経理係主事	辻村 貴文
	上下水道総務課経理係主事	辻井 哲也
	料金課主幹(上下水道料金係長)	宮本 幸夫
	料金課下水道負担金係長	松井 裕一
	上水道課主幹(水源係長)	中西 功
	上水道課給水係長	北村 功郎
	上水道課維持係長	佐々木 徹
	上水道課建設係主事	松本 拓也
	下水道建設課主幹(下水道第一係長)	川面 和彦
	下水道建設課主幹(雨水施設整備係長)	岡井 孝浩
	下水道建設課下水道第二係長	本田 慶一
	下水道建設課下水道第一係主事	北村 智
	下水道施設管理課長補佐(施設維持係長)	森本 真人
	下水道施設管理課排水設備係長	山本 慎治
	環境課環境対策係長	山本 佳典
	環境課環境対策係主事	松岡 薫
	上下水道総務課庶務係長	下村 真司
	上下水道総務課庶務係	牧 祐介

議事録署名 曾根 章江 委員 田岡 光生 委員

傍聴者 3名

議 題 (1) 伊勢市水道事業ビジョンについて(継続審議)
(2) 流域関連伊勢市公共下水道事業計画(第5期)について(継続審議)
(3) 伊勢市公共下水道事業 事業評価について

審議状況

○開会挨拶 上下水道部長

○司会進行 事務局

○議事進行 木本会長

○第4号議案 伊勢市水道事業ビジョンについて

上水道課から、パブリックコメントの実施結果、第4回審議会からの修正事項の説明。

以下、伊勢市水道事業ビジョンに対する質疑応答

意委員：パブリックコメントに寄せられた民営化、広域化に対する意見への対応だけでなく、スタンスをきちりとして住民に納得してもらえるような事業運営を行ってほしい。

答事務局：水道法改正の柱の一つである適切な資産管理の推進に対する指摘と受け止め、長期的な観点から将来の見通しに基づき計画的な資産管理に取り組んでいきたい。

結果 答申は、「伊勢市水道事業ビジョンについて」は、これを妥当と認める。
ということで決定。

1月22日(火)16:00から会長、副会長より市長へ答申を行う。

○第5号議案 流域関連伊勢市公共下水道事業計画(第5期)について

上下水道総務課から、第4回審議会からの修正事項の説明。

以下、流域関連伊勢市公共下水道事業計画(第5期)に対する質疑応答

意委員：◎、○、△の点数配分を明確にしてほしい。また、将来人口が増加するであろう箇所順位が低く、人口が減少するであろう箇所順位が高いことへの理論付けをしっかりとしてほしい。

答事務局：点数配分については、次回以降、注釈にて配点を明示したい。理論付けについては、人口動向だけでなく、さまざまな観点から総合的に判断していきたい。

結果 答申は、「流域関連伊勢市公共下水道事業計画(第5期)について」は、これを妥当と認める。」ということで決定。

1月22日(火)16:00から会長、副会長より市長へ答申を行う。

○ 伊勢市公共下水道事業評価について

下水道建設課より、伊勢市公共下水道事業のうち国からの交付金を受けている事業の自己評価について説明。

以下、流域関連伊勢市公共下水道事業評価に対する質疑応答

質委員：資料4のBOD値と自己評価の内容が整合しないが、本日の資料を確認すると整合がとれるため、本日配布のパワーポイント資料を国へ提出するとの理解でよいか。また、資料4については説明用資料との理解でよいか。

答事務局：国への報告は、評価書となり、実績値である5.4mg/lと自己評価を記載している。提出後、国からの意見があれば本日配布のパワーポイント資料を提示する。

質委員：本日配布のパワーポイント資料を見ると水質変化が大きいが、その原因は何か。

答事務局：勢田川の水質は、年間を通じ数値が1.0mg/lから22.0mg/lまで大きく変化する。原因として、潮の干満の影響が大きい、自己水源が少ない、ヘドロが堆積している等の原因があり、採水のタイミングで水質が変化する。

質委員：伊勢神宮の参拝者数と事業評価との関連性は何か。

答事務局：下水道及び浄化槽整備により水域等の住環境を整え、観光客数の増加

を見込んでいる。また、伊勢市統計では観光客数を伊勢神宮の参拝者数として
いるため、整合をとっている。

質委員：勢田川の水質自体に長期的な目標値はあるのか。

答事務局：国土交通省より河川類型(AA～E 類型)が設定されており、現在勢田川は
C 類型 (BOD 値 5.0mg/l) に分類されている。次の類型は B 類型であり、BOD
値 3.0mg/l を目標に取り組んでいる。

意委員：河川の近くで、レストランが開業しており、夕方には散歩する方も増え
ている。以前は、臭いで歩くのも嫌であったが、数値には表れないが環境は良
くなっていると評価出来るのではないか。

答事務局：評価書に記載する。

質委員：BOD 値が変動するのは、採水条件が異なっているためではないのか。
また、条件を統一すれば、数値の変化がよりわかりやすくなるのではないか。

答事務局：干潮及び満潮の平均値をその日のデータとしており、35 回/年間 75%
値となっている。

意委員：漁業組合から、エイが泳いでいるのを何度も確認した。勢田川は綺麗に
なったと実感しているが、あまり綺麗になると魚介類が取れなくなってしまう。

質委員：中間評価で完了値の目標設定はしているのか。また、目標値の設定の仕
方はどのようにしているのか。

答事務局：生活排水処理は、下水道と浄化槽整備が完了し 100%となる。下水道だ
けでは、約 90%が最終目標である。

浸水対策の最終目標は、被害をゼロにすることである。長寿命・耐震化は施設
の状態によって異なるため、その度に目標を立て進めていく。

質委員：雨水ポンプ場の長寿命化計画が、目標 1 箇所に対し実績 4 箇所となっ
ているが、何故目標以上に進められたのか。

答事務局：国の動向を注視しながら、前倒しした方が良い計画に関して、積極的
に進めているためである。

質 委員：宮川からの勢田川への導水事業は、どこの事業になるのか。

答 事務局：国が整備を行い、管理は伊勢市で管理をしている。

意 委員：宮川から勢田川への導水事業の効果も検証した方がよいのではないか。

答 事務局：導水事業による勢田川浄化の効果について、今後検証していく。

質 委員：汚水処理人口普及率が目標達成出来なかった要因は何か。

答 事務局：下水道整備は予定どおり実施したが、消費税の増税の影響により、合併浄化槽の申込み件数が少なかったことが要因である。

質 委員：今後、目標値を達成するための対策はあるのか。

答 事務局：「ケーブルTV」、「広報いせ」に加え、自治会へ赴き説明するなど、合併浄化槽の啓発活動を進めている。

結果 重要な意見については、国へ報告をする際に市民からの意見として紹介することで決定。

○その他

- ・事務局より今年度の審議会開催に対する委員の皆様へのお礼の挨拶。

上記のとおり会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 31 年 1 月 16 日

議 長 _____ 印

署 名 委 員 _____ 印

署 名 委 員 _____ 印